

格式高い伝統と若いエネルギーが合体！

祭りや四季折々のイベントは必見！

常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）＆歳時記

市内は多くの観光客で賑わう

常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）

常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）は川越氷川祭、佐原の大祭とともに関東三大祭り※の一つに数えられる歴史ある大祭で、街があふれんばかりのエネルギーで包まれる。このほかにも石岡にはイベントがたくさん。

問合せ：☎0299-23-1111（石岡市商工観光課）

常陸國總社宮（→P13）の例大祭で、「石岡のおまつり」ともよばれる。神幸祭では大神輿が約30台もの幌獅子に伴われて練り歩き、仮殿へ御分霊が鎮座する。中日は奉納相撲や十二座神楽、幌獅子と山車の大行列など行事が多い。最終日には御分霊が本殿へ還御する。約50万人の観光客が訪れ、茨城県指定無形民俗文化財の石岡囃子が街を盛り上げる。



常陸國總社宮から大神輿が出発する





灯りに浮かび上がる山車が日暮れ時の香丸通りを曳かれていく



古くからの伝統を受け継ぐ囃子連による石岡囃子はリズミカル

祭りには全国から数十万の人々が訪れ、市街を埋め尽くす

常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）スケジュール

毎年9月15日／例祭
土曜／神幸祭（じんこうさい）、供奉行列
日曜／奉祝祭（ほうしゅくさい）
- 奉納相撲
- 浦安の舞・染谷十二座神楽・明神神輿宮出し
- 幌獅子大行列
- 山車大行列

月曜、祝日（敬老の日）／還幸祭（かんこうさい）、供奉行列



重さ1tにも及ぶ大神輿が年番町の若者約200名に担がれる。迫力満点！

※「関東三大祭り」の定義には諸説ある

石岡歳時記

4月	4月8日	国分寺花まつり
	19日	佐志能神社例大祭（染谷十二座神楽）
	上旬～	さくらまつり（常陸風土記の丘）
	下旬～	ボタンの見頃（いばらきフラワーパーク）
	下旬～	シャガの見頃（いばらきフラワーパーク）
5月	上旬～	シャクヤクの見頃（いばらきフラワーパーク）
	中旬～	春バラの見頃（いばらきフラワーパーク）
6月	下旬～	アジサイの見頃（いばらきフラワーパーク）
7月	上旬～	ヤマユリの見頃（いばらきフラワーパーク）
	第3日曜	片野八幡神社祇園祭
	第4日曜を含む土・日曜	柿岡のおまつり（柿岡八坂神社祇園祭）
	最終土・日曜	高浜神社青屋祭
	下旬	三村須賀神社祇園祭
	7～8月	ヒマワリの見頃（いばらきフラワーパーク）
	7～11月	ダリアの見頃（いばらきフラワーパーク）
8月	8月15日	真家みたまおどり
9月	9月15日および敬老の日を最終日とする3日間	常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）
	旧暦8月15日	柿岡八幡宮太々神楽（十二面神楽）
10月	10月10日	金刀比羅神社秋期例大祭
	中旬～	秋バラの見頃（いばらきフラワーパーク）
	中旬～	イルミネーション（いばらきフラワーパーク、1月末ごろまで）
11月	11月3日	根小屋代々十二神楽
	第3日曜	ふれあいまつり（秋）
1月	上旬～	ロウバイの見頃（いばらきフラワーパーク）
2月	下旬～	河津桜の見頃（いばらきフラワーパーク）

※日程は変更の場合あり





獅子頭は重いもので約30kgもある。各町内の名手がかぶり持って舞いながら練り歩く

黒い獅子頭に深紅の幌が鮮やかな鹿の子町の幌獅子



土橋町の幌獅子。約20kgの獅子頭を地面すれすれで舞わせるのが名手の腕の見せどころ。体力勝負だ

石岡市指定無形民俗文化財

〈常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）の獅子・山車・ささら行事〉

幌獅子●ほろじし

大きな獅子頭と、囃子衆が乗り込む車輪が付いた移動式の小屋にさらに布の幌が被せられた、全国的にも珍しい獅子のスタイル。石岡のシンボルともいわれる獅子頭は、作り手によって町内ごとに色や表情が異なり、勇壮に街を練り歩く姿が楽しめる。町内ごとに約30の幌獅子が参加する。



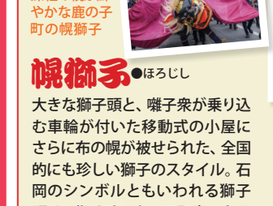
山車の側面は龍などの細かな彫刻で飾られている



中町の山車人形は常陸國總社宮の神石に腰かけたとされるヤマトタケルノミコト

山車●だし

屋根のない2～3層建てで、1層が舞台となっている。上層には各町独自の2mほどの人形が飾られる。また、台座には直径40～50cmの四輪と長さ30m以上の曳綱が付けられ、祭り衣装の子どもや若者たちによって曳かれる。



「七度半の迎えをうけて出る」といわれる格式高いささら

ささら

大神輿の露祓いの先頭に立つのがささら。神社札や稲穂、榊などで飾られ、紺地に八咫烏を染めた幕を張った屋台の上で、3頭の獅子が舞う姿は独特な雰囲気。総社宮や仮殿などでは屋台の外で舞を奉納する。目や歯に金箔が施された3頭の獅子は老獅子、若獅子、女獅子とよばれる。

ささらは茨城県指定無形民俗文化財・石岡市指定有形民俗文化財。獅子には黒漆が塗られ、咽頭部は軍鶏の羽で覆われている。さらに老獅子、若獅子には長い角がある

茨城県指定無形民俗文化財

石岡囃子●いしおかばやし

囃子連は15名程度で編成される。演奏は大太鼓（長胴）1、小太鼓（〆太鼓）2、笛1、鉦1の5名で行い、それぞれの曲に応じて、面を着けた踊り手がおもしろおかしく踊る。

おかめやひょっとこが石岡囃子に合わせて踊る



イルミネーション（いばらきフラワーパーク）10月中旬～



柿岡のおまつり（柿岡八坂神社祇園祭）7月第4日曜を含む土・日曜

さくらまつり



ヤマユリ



常陸國總社宮例大祭（石岡のおまつり）



秋バラ